

第1回 橋本市公共下水道事業審議会 会議録

日時：平成23年11月4日（金）午後1時30分～午後4時10分

場所：橋本市役所 3階 議会委員会室

【審議会出席委員】濱田學昭委員、上久保修委員、笹嶋邦彦委員、贅川一郎委員、齊藤捷彦委員
畑野富雄委員、荻田一郎委員、丹下一子委員、上田良治委員、石橋英和委員
加藤昌男委員

【審議会欠席委員】矢野佳世子委員

【審議会内容】

1. 開会

2. 委嘱状の交付

3. 市長あいさつ

市長あいさつの後

- ・審議会委員及び事務局の紹介・・・事務局より紹介
- ・橋本市公共下水道事業審議会条例並びに〃運営規程・・・事務局より説明
- ・会議の公開について

「橋本市公共下水道事業審議会運営規程」に基づき公開とする。

傍聴人：0人／10人

4. 会長、副会長の選出

(1) 会長に 濱田 學昭 委員を選出

(2) 副会長に 畑野 富雄 委員を選出

5. 会長あいさつ

「橋本市公共下水道事業審議会運営規程」に基づき、会議録署名委員2名を指名

会議録署名委員 上久保 修 委員

会議録署名委員 荻田 一郎 委員

6. 諮問

市長より審議会会長に諮問

「橋本市公共下水道事業の健全な運営を行うため、使用料対象経費に占める使用料の割合について検討を行い、経営の健全化に向けた公共下水道使用料の見直しについて諮問いたします。」

7. 議事

(1) 橋本市公共下水道の概要について

【質疑応答】

(委員) 行政面積の割に、下水道計画面積が2,225 haと少ない、しかし、計画人口は61,500人と行政人口と大差ないのは、人口集中区域を下水道計画区域としていると解釈したらいいのですか。

(事務局) その通です。山林や農地の部分は除いています。

(委員) 維持管理負担金について、平成23年3月までは97円/m³、平成23年4月からの2年間は103.7円/m³、平成25年4月からは110.4円/m³と細かくなっていますが、これは、資本費と維持管理費の全体から割り出した金額ということで理解したらいいのですか。

(事務局) 流域下水道の中期経営計画の表の中で、平成23年度から42年度までの総計で、今まで投資してきた設備の資本費、これから増える資本費、また、今後の汚水処理の経費があります。その総費用を総処理汚水量で割り戻し、平成42年度で収入と支出の合計が同じになるように単価を定めています。このため、単価が細かくなっています。

(委員) 下水道会計は、特別会計ですか。

(事務局) 今は、特別会計で運用しています。単年度別にみれば、一般会計からの繰入で黒字決算を行っています。

(委員) 周辺整備事業で残事業費が 24 億 4 千万円あるということですが、状況によっては今後、増額されるという可能性もあるのではないですか。

(事務局) 変わる可能性はあると思います。しかし、道路、コミュニティ施設の整備は完了していますので、場内整備の今後と、社会体育文化施設が残っている状態です。

(委員) この周辺整備について、地元からの新たな要望とか、要求とかはないのですか。

(事務局) 計画当時の事業費で、現在 24 億 4 千万円が残っていますが、それが何時整備できるか、見通しは実際立っておりません。

(委員) 周辺整備の負担金も、今後の整備状況に応じて支払う必要があるわけだから、そのことを確定しなければ、使用料の検討もできないのではないですか。

(事務局) 事務局の判断では一応一段落している状況だと感じています。推進協議会や課長会での協議の中で、そのように認識しています。

(委員) 今現在、住民は上水道料金と下水道料金を支払っています。この内今まで下水道の処理に必要な維持管理負担金を 97 円/m³支払っていたものが、13.4 円/m³上がる。これを料金に反映するのですか。

(事務局) 流域の負担金が上がったから、その分だけ使用料にスライドさせるという状況には、今はありません。今後、審議会において、流域の維持管理負担金の状況も考慮に入れながら、今後どうしていくか審議していただくように考えています。

(委員) 流域下水道の維持管理負担金の 110.4 円は公共下水道使用料に含まれていると考えていいのですか。

(事務局) 110.4 円は流域の負担金です。市の下水道使用料をどうするかということの考え方は、何円あげるというのではなく、中身について説明させていただき、その理解をいただいた上で、どのような着地点がいいのか、ということを考えていただけたらと考えています。

(委員) 汚水処理原価の比較で、橋本市の 274 円が、全国平均の 151 円、類似団体の 250 円のいずれと比べても突出していますが、この分析を説明願います。

(事務局) 全国平均の 151 円は、大都市の汚水処理原価の低さが全国平均を押し下げています。類似団体的にみてもみると、橋本市が 274 円、類似団体が 250 円と大差はありません。また、全国平均は、古くから整備に着手し完了しているところが多く含まれるため、単価は低くなり、橋本市を含む整備途中の市町村は、処理原価が高くなります。

(委員) 事業所からの汚水についても、使用料は一緒ですか。

(事務局) 一般と料金は変わりません。

(2) 今後の審議会のスケジュール (案) について

【質疑応答】

(委員) 次回の審議会の開催についてですが、できれば五十日は避けていただきたい。

(事務局) 議会の閉会の関係もあり、19日の週でお願いいたします。

3回は、12月21日(水)に開催することに決定した。

次回は、11月21日(月)に伊都浄化センターの現地視察を予定しています。

部長あいさつを行い閉会 閉会時間 午後4時10分